

施策番号	2604		
施策名	地域の災害対応力の向上をはじめとする防災危機管理体制の充実		
概要	地震や水災害等の被害を最小限に抑えるために、消防団、自主防災組織等の災害対応力を向上させるとともに、防災危機管理体制の充実を図る。		
担当局・部室	消防局・安全救急部	共管局・部室	行財政局・防災危機管理室
上位政策	26 消防・防災		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都市地域防災計画，京都市国民保護計画		

施策の評価

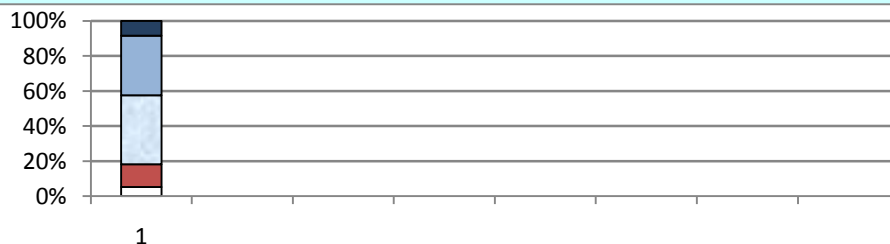
1 客観指標評価

指標名		年度	23年度	24年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	防火防災教育訓練への参加者数(延べ人数) (人)	-	c	366,027	380,544	409,740	92.9%	b	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
			c	客観指標総合評価				b	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		24年度回答					有効回答 者数	評価
		そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう思わ ない	そう思わ ない		
1	防災意識の向上とともに、地域ぐるみの災害対応力が高まっている。	44 8.4%	178 34.0%	206 39.4%	68 13.0%	27 5.2%	523	c
2	-							-
3	-							-
4	-							-
5	-							-
		市民生活実感調査総合評価						c



- そう思う
- どちらかと言うとそう思う
- どちらとも言えない
- どちらかと言うとそう思わない
- そう思わない

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					23 年度	C
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	b	<input type="checkbox"/> 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 消防・防災施策については、市民にとって平常時には実感を得にくいものであることから、客観指標を重視する。							
(原因分析) ・客観指標評価については、東日本大震災を踏まえた防災関連の取組の強化や市民の防災意識の高まりにより、防火防災教育訓練への参加者数が前年度と比較して増加したため、b評価となった。 ・市民生活実感評価については、東日本大震災の影響により、市民の求める災害対応力の基準が高まっていることからc評価となったと考えられる。						年度	-

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		24年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		23年度 決算額	24年度 予算額		
1	防災危機管理対策	886,396	388,965	良い	行財政局
2	福祉避難所運営支援事業	—	8,670	—	保健福祉局
3	地域における見守り活動促進事業	—	30,870	—	保健福祉局
4	消防団管理	793,867	759,848	良い	消防局
5	消防団活動	262,803	278,763	良い	消防局
6	消防団運営	94,248	94,248	良い	消防局
7	自主防災組織の災害対応力の充実	878,683	879,324	かなり良い	消防局
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- ・市民防災センターの利用促進をはじめ、あらゆる機会を用いて市民の防災意識の更なる高揚を図るとともに、防災クロスロードやD I G（災害図上訓練）など新たな指導手法も取り入れ、防火防災教育訓練を実施するなど、地域の災害対応力の向上に努める。
- ・「京都市の防災対策総点検」結果を踏まえた「京都市地域防災計画」を見直すとともに、新たに「京都市地域防災計画（原子力災害対策編）」を作成する。また、全避難所での「避難所運営マニュアル」の作成を地域主体で進めるとともに、避難所で使用する応急物資の充実などに努める。
- ・防災危機管理室と、地域防災拠点を設置した各区役所の密接な連携により、地域に密着した防災の取組についても、より一層強力に展開していく。

施策名	2604	地域の災害対応力の向上をはじめとする防災危機管理体制の充実										
指標名	防火防災教育訓練への参加者数（延べ人数）（人）											
担当課	安全救急部市民安全課		連絡先	2 1 2 - 6 6 9 2								
1 指標の説明												
消防局が実施する防火・防災教育訓練（講習会，見学会・展示会，パレード，広報を除く）への参加者数（京都市市民防災センター利用者数を含む。）												
2 指標の意味			3 算出方法・出典等									
市民の防災意識の高さを示す指標			算出方法：防火・防災教育訓練への参加者数（京都市市民防災センター利用者数を含む。） 出典：事業担当課調べ									
4 数値												
	前回数値 22年度	最新数値 23年度	推移	目標値								
				数値	根拠	達成度						
数値	366,027	380,544	14,517人増	409,740	該当年度当初の人口（3歳以下及び防火安全指導対象者を除く。）の1/3の数	92.9%						
	全国順位	中長期目標				備考						
		数値	目標年次	達成度	根拠							
数値												
5 評価基準		6 基準説明			7 評価結果							
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：90%以上100%未満 c：80%以上90%未満 d：70%以上80%未満 e：70%未満		・目標値を達成すればa評価 ・以下10%刻みでb～e評価			<table><tr><td></td><td>23</td><td>24</td></tr><tr><td>-</td><td>c</td><td>b</td></tr></table>			23	24	-	c	b
	23	24										
-	c	b										